

令和 8 年度 入学試験問題

国 語

注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は大問（四）まであり、1 ページから 12 ページに印刷されています。
- 3 解答用紙の決められた欄に解答またはマークしなさい。
- 4 記入する解答は、解答欄からはみ出さないように、はっきり書き入れなさい。
- 5 マークシート方式により解答する場合は、選んだ記号の ○ の中を塗りつぶ

しなさい。複数選ぶ場合は、該当する記号をすべて塗りつぶしなさい。

良い例	悪い例		
			
イ	イ	イ	イ
ウ	ウ	ウ	ウ
エ	エ	エ	エ

- 6 解答用紙にマス目がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず
1 マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点
などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 7 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。
- 8 試験終了後、問題冊子は回収します。

(一) 次の問いに答えなさい。

問一 次の文章の空欄①～⑤には、体の部位を表す漢字一字が入ります。適切な漢字をそれぞれ答えなさい。

長時間にわたる追跡で、捜査員たちの①は棒になった。犯人の居場所について共犯者がうっかり②を滑らせた情報であったが、身柄の確保がで
きなかったのだ。この報告を受け、本部で待機する関係者も皆一斉に③を落とした。しかし、長い④で見た場合、確実に犯人を追いつめてい
るとは間違いない。次こそ必ず捕まえます、⑤が鳴りますよ、とベテラン刑事は取材陣に答えた。

問二 次の文章についてあとの問いに答えなさい。

選挙権が与えられるには①投票日時で満十八歳以上の者であることが条件であり、選挙日程によっては同じ高校三年生でも「有権者」と「非有権者」
に分かれてしまう。では、なぜこのことが問題となるのか。それは、「大人」という概念に関する問題である。

人はいつ、なにをもって「大人」②あるいは、「成人」と見なされるのか。このことについて多くの議論がなされてきた。公職選挙法改正に際し、飲酒や
喫煙の可能年齢引き下げ論までもが話題になったことを見ると、③選挙権を持つことは「大人」と同義に考えている人々がいるようである。この考えをそ
のまま④受けると、同じ教室の中で「大人」と⑤そうではない者が混在することとなる。しかし、その違いがそのまま、成熟した者とそうでない者との線
引きになるのだろうか。

(1) 傍線部①「投票」の熟語の構成を説明したものととして適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの

ウ 上の字が下の字を修飾しているもの エ 下の字が上の字の目的語や補語になっているもの

(2) 傍線部②「あるいは」の品詞として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 動詞 イ 名詞 ウ 副詞 エ 接続詞

(3) 傍線部③「選挙権を持つ」は二つの文節に区切ることができる。この文節どうしの関係として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係 ウ 並列の関係 エ 補助の関係

(4) 傍線部④「受ける」の活用の種類を次のア～エより一つ選びなさい。

ア 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用 エ 力行変格活用

(5) 傍線部⑤「そうではない者」が指すものとして適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 満十八歳の者 イ 高校三年生 ウ 非有権者 エ 成人

(二) 次の【文章Ⅰ】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章Ⅰ】

1 半年にわたる開催期間を無事に終え、大阪・関西万博の象徴であった大屋根リングの解体工事が始まった。この屋根の下では、一五〇を超える国や地域、それに加えて多くの企業が一堂に会して万博を盛り上げた。次の※―登録博は二〇三〇年に中東のリヤドで行われるが、今回をはるかに上回る規模での開催計画が発表されている。

2 近代化が進む一九世紀初頭、国内産業の製品や地方の隠れた名品などを一堂に並べ、自国の持つ商品価値を高めようとする「博覧会」がヨーロッパ各国で開かれた。それを自国の規模で留め置かず、世界各国の物産を集めて開催したものが万国博覧会、すなわち万博であった。こうして一八五一年、世界初の万博がロンドンで開かれた。飛行機が発明される以前の開催にもかかわらず、それでも三〇カ国以上が海を渡って参加したことから当時の熱狂ぶりが伝わる。日本が本格的に万博に参加したのは、一八六七年、明治aイシンの直前に開催されたパリ万博である。幕府や各藩が出品したcウキヨ絵や漆器、陶器などの美術・工芸品がヨーロッパの芸術界に大きなインパクトを与え、※2ジャポニズム流行のきっかけとなった。また、パリと言えば、一八八九年の万博が名高い。来場者が三〇〇万人を超えたとされるこの万博の目玉はエッフェル塔であった。当時の近代技術の①粋を集めたこの塔は、単なる一過性の展示物ではなく、一世紀以上にわたってパリの象徴として愛されている。このように万博とは、過去から現在、そして未来へと脈々と受け継がれていく「レガシー」を生み出す場なのである。

3 万博は当初より、その時代の「新」を世界に提示する役割を担ってきた。パリ万博におけるジャポニズムの衝撃は、ヨーロッパの芸術界に新たな表現の様式という「新」をもたらした。当時の人々にとって、万博とは知らなかった世界と技術に触れる機会、すなわち「知新」の場だったのである。さて、このような「博覧会」が我が国ではここ京都で初めて催されたことはあまり知られていない。明治の始まりとともに、天皇をはじめ多くの皇族や公家などが東京に移動し、京都の町の勢いは下降の一途をたどっていた。この危機的状況を打破し、京都の産業に再び光を当てるための起死回生の一手として、一八七一年に②京都博覧会が西本願寺にて開催されたのである。

4 京都博覧会の目的は、単に伝統工芸品を陳列することではなく、海外の最新技術や近代的な生産方法と呼び込み、京都の伝統産業を新しい時代に適応させることにあった。I、京焼や西陣織などに代表される京都の伝統産業は、この博覧会を契機に革新的な技術をドウニユウし、近代産業として再生を遂げた。これは、伝統をただ保存するのではなく、近代化という新しい目的に向けて再定義しようとする、③「伝統と革新の融合」であったと言える。さらに、こうした「新」への意欲は、後の大規模なインフラ事業である琵琶湖疏水の建設へとつながり、その過程で生まれた水力での発電を利用して

一八九五年には日本初の営業用電車が開通した。こうした京都博覧会の成功は後に全国的規模で開催される「※3 内国勸業博覧会」の開催への呼び水となり、単なる地方の催しではなく日本の近代化の方向性を定める試金石としての役割を果たしたのである。

5 このように万博や博覧会は、その時代やその地域の課題を乗り越え、未来への展望を切り開く「知新」の場としての役割を担ってきた。そして今、現代の万博が我々に知らせるべき「新」は次の三つの要素に集約される。一つ目の「新」は、多様性の受容と発信である。万博は、世界中から集まる様々な文化や価値観を単に受け入れるだけでなく、それらが持つ独自の知恵や魅力を世界に向けて示す舞台となる。二つ目の「新」は、国際的な連携の必要性とその強化である。④ 地球規模の課題が複雑化する今、地域や文化圏を超えて、ともに課題を解決するための連携が不可欠である。今回の登録博が中東で開催されることも、多様な文化の受け入れと、国境を超えた連携が、未来を h キズく重要な鍵であることを象徴している。そして三つ目の「新」は、AI技術である。万博は常に、時代の最先端技術を発表する舞台であった。万博は、これらの技術を単に展示するだけでなく、「古き良き人類の営み」にどう統合し、「人間の生活をどう豊かにするか」という問いを、テクノロジーの光とともに提示する使命を負っている。

6 万博がこれらの「新」を世界に問いかけるにあたり、重要な要素がもう一つある。それは、現実空間に人々が一堂に会することであり、デジタル技術が大幅に進化した現代においてもこの重要性は揺るぎないものがある。確かに、ネットワーク上では時間や場所にとらわれず、様々な情報交換や学習、交流はできるだろう。II、現時点においてはデジタル空間がどんなに進化していようが、そこで得られるのは情報の「共有」であって、現実が持つ「体験」と「共感」の密度には及ばない。工芸品の繊細な質感や、エッフェル塔の物理的なスケール感が生み出す圧倒的な衝撃は、現実空間において初めて得られる。一方で、現実の万博会場では、国籍や専門分野、世代を超えた人々が偶然に出会い、議論し、予測不可能な「⑤ 創造的な摩擦」が生じる。むしろ、この偶発的な出会いと協働こそが、ウェブ空間の最適化された情報流通では生まれ得ない、次なる「新」を生み出す種となるのだ。

7 私たちが「大きな屋根の下」で一堂に会する目的は、過去の知恵に、多様性・国際性・AIなどの「新」を融合させ、様々なルーツを持つ人々と切磋琢磨して、未来を創造するための場である。皆が集まるその場所は、単なる物産展でも技術発表会の場でもなく、人類の未来意識を高揚させるための巨大な実験場なのである。

本校教員による文章「大きな屋根の下で」より

注釈 〈※1〉登録博 …… 登録博覧会。国際博覧会条例に基づき、五年以上の間隔をあけて開催される大規模万博のこと。

〈※2〉ジャポニズム …… 一九世紀後半から欧米で流行した日本美術の潮流のこと。

〈※3〉内国勸業博覧会 …… 明治政府が国内産業の振興を目的として開催した大規模博覧会のこと。

問一 二重傍線部 a h のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

問二 傍線部①「粋を集めた」、④「地球規模」の文中での意味として最も近いものを次のア～エよりそれぞれ一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| ①「粋を集めた」 | ア 有名なものを集めた | イ 新しいものを集めた | ウ 優れたものを集めた | エ 費用が安いものを集めた |
| ④「地球規模」 | ア グローバル | イ ローカル | ウ ユニバーサル | エ ナショナル |

問三 ①・②段落の内容について述べた次のア～エのうち、本文に合致しないものを一つ選びなさい。

- ア 開催期間を終えて、大阪・関西万博の象徴であった大屋根リングの取り壊しが開始された。
- イ 一九世紀の初め、ヨーロッパではそれぞれの国が個別に国内規模の博覧会を開催していた。
- ウ 一八六七年のパリ万博に日本が本格的に参加し、これがジャポニズム流行へとつながった。
- エ 多くの来場者を集めたことが評価されたので、エッフェル塔はレガシーとして認定された。

問四 傍線部②「京都博覧会」の説明として適切でないものを次のア～エより一つ選びなさい。

- ア 昔からの技術を、都市の再生や産業の近代化という新しい目的に向け活用する理念が実践された。
- イ 海外の最新技術を取り込み、京都の伝統産業を新しい時代に適応させるための取り組みが行われた。
- ウ 後に全国規模で開催された内国勸業博覧会への機運を生み、近代化の方向性を定める試金石となった。
- エ 琵琶湖疏水の完成と営業用電車開通を記念するとともに、近代化の成果を展示する場として開催された。

問五 空欄 I・II に入る語として適切なものを次のア～エよりそれぞれ一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-------|-------|--------|--------|
| I | ア だが | イ また | ウ たとえば | エ つまり |
| II | ア だから | イ しかし | ウ すなわち | エ なぜなら |

問六 傍線部③「伝統と革新の融合」について、これに最も合致する行動を次のア～エより一つ選びなさい。

- ア 外国語の学習において、辞書に頼らず前後から単語の意味を推測し、新しい語彙を効率よく習得する。
- イ 平安時代の和歌の表現技法を現代楽曲の歌詞に取り入れ、古典的な美意識を現代に合う形で表現する。
- ウ 地域の伝統的な祭りについて調査し、その祭りの形式や歴史を正確に記録・保存する活動に専念する。
- エ 現代社会の課題についての論文を読み込み、その原因を最新の科学的知見に基づいて分析・考察する。

問七 傍線部⑤「創造的な摩擦」の説明として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

- ア 効率や合理性を追求した結果、お互いの意見がぶつからず、スムーズに協力し合えること。
- イ 予期せぬ出会いと、考え方や価値観の衝突を通じて、新しい価値や知恵が生み出されること。
- ウ 過去の伝統や技術をそのまま守り、新しい価値観との衝突を避けるために活動を限定すること。
- エ 最新技術を活用し、オンライン上で多様な人々との情報交換を行い、現実の摩擦を解消すること。

問八 英里と翔太、京子の三人は【文章Ⅰ】について話し合っている。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【三人の会話】

翔太 よく聞く言葉だけど、レガシーって何だろう。

英里 直訳すると「遺産」という意味だから、エッフェル塔みたいに未来にも形が残るものね。でもこの文章ではそれだけの意味ではなさそうね。

翔太 おおやね 大屋根リングって一部は保存されるって聞いたけど、大部分は解体されるみたいだね。本文では、レガシーを生み出す場が万博だと書いているけど、それなら今回の万博はレガシーが残らなかったってことかな。

京子 そんなはずはないわ。きつと、筆者が伝えたかったのは、レガシーは建物などの物質的なものだけではなく、新しい技術や、私たちの中に生まれた新しい考え方や意識にもある、ってことなのかも。

英里 でも、それならどうして取り壊されるはずの「大きな屋根の下で」というタイトルをつけたのかしら。

翔太 もしかして、「同じ屋根の下に集まること」、つまり、「X」ことの重要性を伝えたいのかもしれないな。

京子 きつとそうよ。6段落に、その重要性は揺るぎないって書いてあるわ。だとしたら、私たちが毎日集まる学校という空間も、万博会場と同じで重要な場所ってことよね。

翔太 でも僕たちが学校にわざわざ集まる意味って何だろう。正直、授業を動画で見た方が効率が良いかもしれないよ。

英里 この文章で言っていた「創造的な摩擦」が重要なのかも。SNSやネットの世界は考え方や好みが同じ人たちが集まるでしょ。でも、現実世界の教室って様々な考えを持つ人が集まって来るよね。

京子 クラスメイトは自分で選べるわけじゃないものね。でも同じクラスになったなら全然違う趣味や考え方の人と文化祭や委員会では必然的に協力し合うことになるわね。それが多様性の受容と発信ってことかしら。

翔太 それって、古い考え方や伝統が、否応なく新しい技術や価値観と出会わされる状況に似てないか。自分は変わりたくなくても、いやでも新しい考え方や行動に変えていく必要があるって。

英里 本文に「伝統と革新の融合」ってあったけど、あれはただ伝統を守るだけじゃなくて、今の時代に合わせて「再定義」する、つまり新しい意味を見つけることなのよね。これって、いわゆる「温故知新」をもっと進化した考え方だね。学校も同じで、古い校則や慣習をただ守るんじゃない

くて、今の私たちの視点で新しい価値を見つけていく場所なんだよ。それにAIや多様性といった新しいテーマを試す実験場だと考えたなら、

とても意味があるわね。

京子 そうね。歴史や伝統がただそこにあるだけじゃなくて、私たちの手で新しい形に変えながら、次へつないでいく。それが本文にあった、過去か

ら未来へと続いていくレガシーの正体なのかもしれないわ。

翔太 じゃあさ、僕たちも京都博覧会を企画した人たちみたいに、何かデカイことしないと。琵琶湖疏水みたいな…。学校内に水力発電所の建設とか(笑)。

英里 それは極端だけど(笑)。要するに、私たちはこの大きな屋根の下では、色々な人とぶつかり合ったり、多様性を受け入れたり、未来の課題を話し合ったりすることが重要なのよ。

京子 そこから得られる経験が、まだデジタルやネットの世界では実現できない「知新」ということなのね。

問(1) 会話中の空欄 X に入る語を【文章Ⅰ】から六字で抜き出さない。

問(2) 三人の会話に欠けている【文章Ⅰ】の重要な視点は何か。次のア～エより一つ選びなさい。

ア 国際連携の視点

イ 先端技術への視点

ウ 多様性への視点

エ 協働に対する視点

問(3) 会話中の傍線部「大きな屋根の下」が指す場所はどこか。【三人の会話】から抜き出さない。

(二) 次の文章は『源氏物語』からの出典である。荒れ果てた屋敷の裏に広がる森の中で、僧たちが不思議なものを見かけたときの様子が描かれている。その正体は正気を失った浮舟(源氏物語のヒロインの一人)なのだが、彼らはそれを狐が化けたものだと思いを勘違いをする。この場面を読み、あとの問いに答えなさい。

※1 まづ、僧都渡りたまふ。いといたく荒れて、恐ろしげなる所かな、と見Iたまひて、「※2 大徳たち、経読め」などのたまふ。この※3 初瀬に添ひたりし阿闍梨と、同じやうなる、何ごとのあるにか、※4 つきづきしきほどの下藤法師に灯ともさせて、人も寄らぬうしろの方に行きたり。

森かと思ゆる木の下を①うとましのわたりやと見入れたるに、白き物のひろがりたるぞ甲。「かれは何ぞ」と立ちとまりて、火を明かくなして見れば、物のIIゐたる姿なり。「狐の変化したる。※5 憎し。見あらはさむ」とて、一人はいま少し歩みよる。いま一人は、「※6 あな、用な。②よからぬ物ならむ」と言ひて、IIIさやうの物退くべき※7 印を作りつつ、さすがになほまもる。③頭の髪あらば、太りぬべき心地するに、この火ともしたる大徳、※8 はばかりもなく、あうなきさまにて、近く寄りて、そのさまを見れば、髪は長くつやつやとして、大きな木の根のいとあらあらしきに寄りゐて、いみじう泣く。

④めづらしきことにもはべるかな。僧都の御坊に御覽せさせたまつらばや」と言へば、「げにあやしきことなり」とて、一人は、まうでて、「かかることなむ」と申す。「狐の人に变化するとは、昔より聞けど、まだ見ぬものなり」とて、※9 わざと下りておはす。

注釈 <※1> まづ、僧都渡りたまふ。… まづ僧都が(屋敷に)お入りになる。僧都は僧侶の階級で、この場にいる僧たちの中で最上位の者。僧都たち一行は、宇治にある空き家同然の屋敷に泊まることになった。

<※2> 大徳たち、経読め… 大徳はここでは僧都や阿闍梨の補佐を行う僧のこと。荒れた屋敷の邪を祓うために読経を行うように指示をされている。

<※3> 初瀬に添ひたりし阿闍梨と、同じやうなる、… 初瀬に同行した阿闍梨と同じよう(身分の)阿闍梨。初瀬は奈良県の長谷寺のこと。平安時代、都から宇治を通り、長谷寺に参る初瀬詣が盛んであった。ここでの阿闍梨は僧都に次ぐ高位の僧。初瀬に行っていた者と、後から合流した者と二人の阿闍梨が僧都に同行している。

<※4> つきづきしきほどの下藤法師… (恐ろしい場所を案内するに)ふさわしい下藤法師。下藤法師は、身分の低い法師のこと。ここでは大徳と同等の僧。先の阿闍梨二人とこの法師(大徳)の三人で屋敷の裏を探索する。

<※5> 憎し。… 気に入らない。狐が自分を化かそうとしていると考えている。 <※6> あな、用な。… ああ、よしなさい。

<※7> 印… 印相、手印。手の指で仏や菩薩の悟りや誓願を表すこと。 <※8> はばかりもなく、あうなきさまにて、… 恐れることなく、無頓着な様子で、 <※9> わざと下りておはす。… わざわざ(屋敷から)下りていらっしゃる。

問一 二重傍線部Ⅰ、Ⅲを現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問二 傍線部①「うとましのわたりや」の解釈として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 気味が悪い場所だな。 イ 残念な場所だな。 ウ うらやましい場所だな。 エ 懐かしい場所だな。

問三 空欄 甲 に入る語として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 見え イ 見ゆ ウ 見ゆる エ 見ゆれ

問四 傍線部②「よからぬ物ならむ」の解釈として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア よくないものならよかったのに。 イ よくないものではないだろう。

ウ よくないものであろう。 エ よくないものになりそうだ。

問五 傍線部③「頭の髪あらば、太りぬべき心地する」とあるが、これはどのような感情のことか。適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 身の毛もよだつような、ゾツとするほどの恐ろしさ。 イ うぶ毛が逆立つような、ワクワクしてたまらない好奇心。

ウ 髪の毛が逆立つような、化け物に対する激しい怒り。 エ 後ろ髪を引かれるような、相手に寄せるいたわりの気持ち。

問六 傍線部④「めづらしきこと」とあるが、どのような事柄を指すか。次のア～エより一つ選びなさい。

ア 阿闍梨が法印によって化け物を退けたこと。 イ 女性に化けた狐が木の根元で泣いていること。

ウ 髪の毛の長い女性が化け物に襲われたこと。 エ 大徳が化け物に対して恐れを感じなかったこと。

問七 本文を解説した次の文章の空欄 a に入る適切な語を示された字数で本文中からそれぞれ抜き出しなさい。

本文の主要な登場人物は、正気を失っている浮舟と、彼女を見つけた三人の僧、そして、僧たちの長である僧都の五名である。

暗い森の中で、 a 3字 が広がっているのを見つけた阿闍梨は、それを、狐が変化したものだ、と決めつけ、正体を暴こうと息巻くが、もう一人の阿

闍梨はその行動を制して、呪術的な印を結んで化け物を追い払おうとする。これに対して b 8字 は、身分としては前の二人の僧の雑務を引き受ける

従属的な位置づけであったが、彼は、はばかりもなく、それに近づき、それが泣き崩れる女性であることをいち早く確認した。

この不思議な報告を受けた僧都は、一行の中で最も高貴な身分の僧である。しかし、僧都は狐の変化を c 8字 と言って、知的好奇心からか、わざ

と下りておはす、という行動をとったのである。

問八 『源氏物語』は平安時代中期に書かれた作品である。これと成立年代が最も近い作品を次のア～エより一つ選びなさい。

ア 枕草子 イ 竹取物語 ウ 平家物語 エ 徒然草

(四)

次の資料を使って「十干十二支」について授業をしている。
資料と会話の内容を参考にして、あとの問いに答えなさい。

【資料①】



【資料②】

十干	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
音読み	こう	おつ	へい	てい	ぼ	き	こう	しん	じん	き
五行	木		火		土		金		水	
陰陽	兄	弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟

【資料③】

干支											
1	甲子	11	甲戌	21	甲申	31	甲午	41	甲辰	51	甲寅
2	乙丑	12	乙亥	22	乙酉	32	乙未	42	乙巳	52	乙卯
3	丙寅	13	丙子	23	丙戌	33	丙申	43	丙午	53	丙辰
4	丁卯	14	丁丑	24	丁亥	34	丁酉	44	丁未	54	丁巳
5	戊辰	15	戊寅	25	戊子	35	戊戌	45	戊申	55	戊午
6	己巳	16	己卯	26	己丑	36	己亥	46	己酉	56	己未
7	庚午	17	庚辰	27	庚寅	37	庚子	47	庚戌	57	庚申
8	辛未	18	辛巳	28	辛卯	38	辛丑	48	辛亥	58	辛酉
9	壬申	19	壬午	29	壬辰	39	壬寅	49	壬子	59	壬戌
10	癸酉	20	癸未	30	癸巳	40	癸卯	50	癸丑	60	【Ⅱ】

先生 今日(きょう)の授業(じゆぎやう)は「十干(じっかん)十二支(じゅうにし)」と「干支(かんし)」について学(まな)んでいきます。十干(じっかん)十二支(じゅうにし)は、中国(ちゆうごく)で生まれ、日本(にほん)には飛鳥(あすか)時代(じだい)頃に伝(つた)わったとされていま

す。主(おも)に日付(ひつけ)や時刻(じこく)、方角(ほうかく)などを表(あらわ)すために使(つか)われてきました。まず、私(わたし)たちがよく知(し)っている「十二支(じゅうにし)」から確(かく)認(にん)しましょう。【資料(しやうり)①】を
見てください。子(ね)から始(はじ)まって、丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)
これは全(ぜん)部(ぶ)言(い)えます。年(ねん)賀(が)状(じやう)でもお馴(なじ)染(じ)みです。

翔太 では次(つぎ)に「十干(じっかん)」です。これは十種(じゅうしゆ)類(るい)ありま

す。【資料(しやうり)②】を見(み)てください。一(ばん)目(め)の甲(こう)から始(はじ)まって、十番(じゅうばん)目(め)の①癸(き)まで続(つづ)きます。十二支(じゅうにし)と同

じく、癸(き)の次(つぎ)は、また甲(こう)に戻(もど)ります。

英里 【資料(しやうり)②】の「五行(ごぎやう)」の欄(らん)を見(み)ると日(にち)・月(げつ)以外(いがい)の各(かく)曜(よう)日(じつ)の漢(かん)字(じ)が入(はい)っているように見(み)えますね。

鋭(すまど)いですね。五行(ごぎやう)は自然(しぜん)界(かい)を構(く)成(せい)する五(いつ)つの要(よう)素(そ)を表(あらわ)します。その五行(ごぎやう)をそれぞれプラスとマイナス、陽(よう)と陰(いん)に分(わ)けたものが十干(じっかん)です。陽(よう)を

「兄(え)、陰(いん)を「弟(てい)と呼(よ)び、たとえ

ば、「甲(こう)の訓(くん)読(よ)みは「木(き)十(じゅう)兄(え)」で「きのえ」となります。

翔太 つまり、乙(おつ)なら、木(き)の陰(いん)になるから、「きのと」となるわけですか？

正解(せいかい)です。翔太(しやうた)くん、飲(の)み込(こ)みが早(はや)いですね。さて、ここから本題(ほんだい)です。「甲子(きのえね)のように、十干(じっかん)を前(まえ)、十二支(じゅうにし)を後(あと)という順(じゆん)序(じょ)で組(く)み合(あ)わせて

いきます。これが【資料(しやうり)③】の「干支(かんし)」です。干支(かんし)は「えと」とも呼(よ)ばれ、最(も)も身(み)近(ぢか)なのは年(とし)の数(かず)え方(かた)に用(もち)いられます。

翔太 今年の「えと」って「午(うま)」ですよね。午(うま)だけではだめなんですか？

それは「十二支(じゅうにし)」だけ指(さ)しています。正(せい)式(しき)には十干(じっかん)も組(く)み合(あ)わせて数(かず)えるのです。ですから二〇二六(にじゅうに)年の干支(かんし)は正(せい)確(かく)には「丙午(ひのえづま)」となります。

十干(じっかん)は十種(じゅうしゆ)類(るい)、十二支(じゅうにし)は十二種(じゅうにし)類(るい)だから、組(く)み合(あ)わせは一(いち)二〇(にじゅう)通(とお)りになるのでしょうか？

英里 実(じつ)はそうはなりませ

せん。十干(じっかん)も、十二支(じゅうにし)もそれぞれ奇数(きすう)番(ばん)目(め)同(どう)士(し)か偶数(ぐすう)番(ばん)目(め)同(どう)士(し)の組(く)み合(あ)わせしかありません。ですから、一(ばん)目(め)同(どう)士(し)の組(く)み合(あ)わせである「甲子(きのえね)」はあ

っても、二番(ばん)目(め)と一(ばん)目(め)の組(く)み合(あ)わせの「乙子(きのとね)」は存(ぞん)在(ざい)しないのです。干支(かんし)は【資料(しやうり)③】にある六十種(しちじゅう)類(るい)が全(すべ)てになり

ます。六十番(ばん)目(め)の「Ⅱ」の次(つぎ)は、また「甲子(きのえね)」に戻(もど)ります。

英里 六十(ろくじゅう)……。私(わたし)が生ま(う)れてからちやうど六十年(ねん)経(た)つと、生(う)まれた年(とし)と同じ干支(かんし)に戻(もど)るということですね。

そうです。それを「還(かん)暦(れき)」と言(い)います。「暦(こよみ)が還(かえ)る」という意味(いみ)で、昔(むかし)から長寿(ちやうじゆ)を祝(いわ)つたりする区切(くぎ)りの年(とし)として大(たい)切(せつ)にされてきました。それ

では、今日(きょう)のま(きょう)とめとして、皆(みな)さんが生(う)まれた年(とし)の干支(かんし)を調(しら)べてみましょう。ちなみに②先生(せんせい)は「庚午(かうん)」の年(とし)に生(う)まれました。

問一 空欄Ⅰに入る十二支を漢字一字で答えなさい。

問二 傍線部①「癸」の訓読みの説明について適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 「火」＋「弟」で「ひのと」と読む。

イ 「土」＋「弟」で「つちのと」と読む。

ウ 「金」＋「弟」で「かのと」と読む。

エ 「水」＋「弟」で「みずのと」と読む。

問三 会話内と【資料③】の空欄Ⅱに入る干支として適切なものを漢字二字で答えなさい。

問四 傍線部②「庚午の年に生まれた先生」は今年（二〇二六年）何歳になるか。適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 二十四歳 イ 三十六歳 ウ 四十八歳 エ 六十歳

問五 【資料】や本文の内容として適切なものを次のア～エより一つ選びなさい。

ア 十千は日付や時刻、方角、階級を表すために近年から使われている。

イ 十二支は年賀状の動物の絵柄を毎年変えるためだけに存在している。

ウ 干支は十千と十二支を全て組み合わせると合計で一二〇通りになる。

エ 六十歳という年齢は、「生まれた暦に還る」という節目の年である。

これで問題は終わります。

国語 解答用紙

受験番号

名前

得点

一
二
三
四

(一)	
二	一
(1)	①
ア イ ウ エ	②
(2)	③
ア イ ウ エ	④
(3)	⑤
ア イ ウ エ	(4)
(5)	ア イ ウ エ

一	
e	a
f	b
g	c
h	d

(二)			
八		六	三
(2)	(1)	ア イ ウ エ	ア イ ウ エ
ア イ ウ エ		七	四
(3)		ア イ ウ エ	④
			ア イ ウ エ
			I
			ア イ ウ エ
			II
			ア イ ウ エ

こと

(三)				
八	七			二
ア イ ウ エ	c	b	a	ア イ ウ エ
				三
				ア イ ウ エ
				四
				ア イ ウ エ
				五
				ア イ ウ エ
				六
				ア イ ウ エ

(四)
一
二
ア イ ウ エ
三
四
ア イ ウ エ
五
ア イ ウ エ

国語 解答

受験番号

名前

得点

網掛け
…3点
その他
…2点

一	20
二	40
三	30
四	10

(一)	
二	一
(1)	①
①	足
	②
	口
(2)	③
①	肩
	④
①	目
(4)	⑤
	腕
②	
(5)	
②	

(二)								
八		六	三	二	一			
(2)	(1)	イ	Ⅰ	①	e	a		
ア	一			ウ	にな	維新		
	堂						Ⅱ	四
(3)			七					
学校	に	イ	Ⅰ	④	f	b		
	会	Ⅰ		Ⅱ			ちんれつ	ばくふ
	す			Ⅲ				
	る		Ⅳ	Ⅱ				
	こと	Ⅴ	イ					
		Ⅵ						
						h	d	
					築	みやくみやく		

(三)				
八	七			二
②	c	b	a	②
	ま	火	白	たまい
	だ	と	き	
	見	も	物	②
	ぬ	し		
	も	た		②
	の	る		
	な	大		②
	り	徳		
				②

(四)
一
巳
二
①
三
癸亥
四
①
五
①